

全建発 20～153号
平成 20年 8月 18日

(機関管理者) 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会 長 松田 芳夫



第 5 4 3 回建設技術講習会(アセットマネジメントと公物管理の課題)開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、機構・公社等に勤務する建設関係職員約 8 万名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術関係職員の技術水準の向上等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、今日、わが国の社会環境が大きく変貌する中で、私ども公共事業に携わる建設技術者は、時代の要請に応えるべく、成果重視の施策の展開、公共事業の効率性・透明性の確保、品質確保と入札契約の適正化を図ることを求められるとともに、また、都市・地域再生、環境対策、自然災害対策など、多くの重要な課題をかかえており、これらに対処するために、技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められております。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等業務に直接役立つ内容となっております。このたびの第 543 回建設技術講習会では、社会資本ストックの増大と老朽化が進展する中、公共土木施設等の維持・管理に係る現状と課題及びアセットマネジメントの考え方を取り入れた戦略的維持管理の最新の動向について学ぶ。また、公物管理を巡る紛争事例など、最近の公物管理の動向についても学ぶことを目的としています。本講習は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 敬具

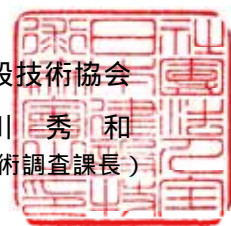
全建発第 19 ～ 276 号
平成 19 年 12 月 14 日

(機関管理者) 殿

社団法人 全日本建設技術協会

研修委員長 前 川 秀 和

(国土交通省大臣官房技術調査課長)



平成 20 年度建設技術講習会について

謹啓 時下ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、わが国の社会環境が大きく変貌する中で、今日、私ども公共事業に携わる建設技術者は、時代の要請に応えるべく成果重視の施策の展開、公共事業の効率性・透明性の確保及び品質確保と入札契約の適正化を図るとともに、地域活力の維持向上に向けた地域再生・都市再生の推進、少子化・高齢化等への対応、環境対策、自然災害対策、社会資本ストックの活用など、多くの重要な課題をかかえております。

これらに対処するためには、官公庁職員の技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められており、このため職員研修の役割は従来にも増して重要と考えております。

社団法人全日本建設技術協会では、主に官公庁に勤務する建設技術関係者の資質の向上を図るため、建設技術講習会及び海外研修を実施しておりますが、このたび平成 20 年度開催計画について、別紙のとおり決定し実施することとなりました。

本建設技術講習会では、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等、業務に直接役立つ内容となっておりますことから、公共事業に携わる官公庁職員の研修の機会として意義あるものと考えておりますので、ご理解のうえ講習会のご活用についてご検討いただきますようよろしくお願い申し上げます。 敬具

地方協会長 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会 長 松 田 芳 夫



第543回建設技術講習会（アセットマネジメントと公物管理の課題）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成20年10月22日（水）～24日（金）、福島市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、社会資本ストックの増大と老朽化が進展する中、公共土木施設等の維持・管理に係る現状と課題及びアセットマネジメントの考え方を取り入れた戦略的維持管理の最新の動向について学ぶ。また、公物管理を巡る紛争事例など、最近の公物管理の動向についても学ぶことを目的としています。

なお、本講習会は、福島県・福島市の共催、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

会場及び日程：別紙日程表のとおり

聴 講 料：正会員・特別会員・賛助会員..... 9,000 円〔昼食の幹旋なし〕
正会員（地元〔福島県内〕）..... 1,500 円〔 " 〕
非会員..... 14,000 円〔 " 〕
「正会員（地元）」とは、開催地（福島県）内に勤務の「正会員」のみ
聴講のみの参加は可能です

現 場 研 修 料：..... 7,500 円〔うち昼食代1,200 円〕
現場研修のみの参加はできません

申 込 方 法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の（写）〕を添えて、期限までに下記全
建事務局までお申し込み下さい。
当日の講習会場でのお支払い並びに追加申し込みは受け付けできません。

申込書送付先：〒107-0052 東京都港区赤坂 3-21-13 昭栄赤坂ビル 7F
（社）全日本建設技術協会 事業課 TEL 03(3585)4546 FAX 03(3586)6640

振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通預金口座 No.0311142
口座名義：社団法人 全日本建設技術協会
お振込の際必ず、お振込人名義の前に、開催回数の「543」をつけ加えて下さい。

申 込 締 切 日：平成20年10月3日（金）必着（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

取り消し・返金について

申込の取り消しについては、下記のように処理いたします。なお、返金は講習会終了後に、所属協会指定口座へ振り込みます。

【返金方法】

平成20年10月10日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
平成20年10月17日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金できません

テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しします。
事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りします。

この講習会は、（社）全国土木施工管理技士会連合会で実施の「継続学習制度（CPDS）」の認定講習会として単位が取得できます。（会場で継続学習制度（CPDS）についての案内を配布します。）

講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい <http://www.zenken.com/>

第543回建設技術講習会（アセットマネジメントと公物管理の課題）日程

～ 戦略的維持管理技術や公物管理を巡る紛争事例～

—社会資本ストックの増大と老朽化が進展する中、公共土木施設等の維持・管理に係る現状と課題及びアセットマネジメントの考え方を取り入れた戦略的維持管理の最新の動向について学ぶ。また、公物管理を巡る紛争事例など、最近の公物管理の動向についても学ぶ。—

会 場 ……福島市公会堂（大ホール）

〒960-8018 福島市松木町 1 - 7 TEL 024-534-2414

1 日目 平成 2 0 年 1 0 月 2 2 日（水）（敬称略）

10：00 10：20	あいさつ "	福島県知事 福島市長	佐藤 雄平 瀬戸 孝則
10：20 11：50	最近における公共事業紛争の判例と動向	みずほ総合法律事務所 弁護士	細見 孝二
13：00 14：30	これからの社会基盤整備マネジメントのあり方について	国土交通省国土技術政策総合研究所 研究総務官兼 総合技術政策研究センター長	西川 和廣
14：40 15：40	【特別講演】 会津の歴史と文化	福島県立博物館 主任専門学芸員兼学芸課長	藤原 ひとし 敏
15：50 16：20	【地域事業の紹介】 国道 2 8 9 号甲子道路について	国土交通省東北地方整備局郡山国道事務所 建設監督官	篠田 耕二
16：20 16：50	【地域事業の紹介】 あぶくま高原道路について	福島県あぶくま高原自動車道建設事務所長	も うえ 馬 上 健二

2 日目 1 0 月 2 3 日（木）（敬称略）

9：40 10：40	港湾施設の戦略的維持管理の推進について ～港湾におけるアセットマネジメントの確立に向けて～	国土交通省港湾局技術企画課 品質確保企画官	鈴木 徹
10：50 11：50	国家機関の建築物等の保全の現況と今後の展望 ～ファシリティマネジメントの動向～	国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課 保全指導室 企画専門官	小坂 孝紀
13：00 14：00	河川管理の適切な推進について ～時代に即した維持管理～	国土交通省河川局治水課河川保全企画室 企画専門官	吉田 大
14：10 15：10	戦略的な道路維持管理 ～事後保全から予防保全への転換に向けて～	国土交通省道路局国道・防災課 道路保全企画室 課長補佐	信太 啓貴
15：10	閉会のあいさつ	福島県建設技術協会長	根本 博行

地域の独自調査

【現場研修】 3 日目 1 0 月 2 4 日（金）

J R 福島駅西口（8：00）出発（行程の都合上、8 時出発となりますのでご了承ください）

- 国道289号甲子道路建設事業（下車説明） → まちづくり交付金事業参道整備（町道資料館線）ほか（史跡慧日寺跡総合整備活用推進事業）（下車説明）
- 昼 食（会津若松市） → あぶくま高原道路建設事業（下車説明）
- J R 郡山駅（16：50）着後解散 → 福島空港（17：35）着後解散

上記行程は道路混雑のため解散時刻が超過することがありますのでご了承ください。
講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

第 5 4 3 回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 国道 289 号甲子道路建設事業 福島県南会津郡下郷町～西白河郡西郷村

一般国道 289 号は、新潟県新潟市を起点とし、福島県いわき市に至る総延長約 300km の道路です。そのうち、福島県南会津郡下郷町から西白河郡西郷村の間は、険しい甲子峠に阻まれ、交通不能区間となっており、大きく迂回を強いられておりました。

このため、福島県では、昭和 50 年度から延長約 23km の「甲子道路」整備を進めてまいりました。また、甲子山を貫通する長いトンネルや橋梁が必要な地形の険しい工区（L 5.9km）は、平成 7 年度から国土交通省が整備を進めてまいりました。

この甲子道路は、平成 20 年 9 月 21 日(日)に開通し、通行不能区間が解消します。

なお、この地域は自然豊かな日光国立公園の甲子地区に位置し、様々な生物が数多く生息しています。このため、地域の自然環境になじんだ道路(エコロード)として整備しています。



2 まちづくり交付金事業参道整備（町道資料館線）ほか （史跡慧日寺跡総合整備活用推進事業） 福島県耶麻郡磐梯町

現在、わが国では国指定史跡に名を連ねる寺院跡がおよそ 200 ヶ所にも上っていますが、その中において、中心建物の復元整備としては慧日寺金堂が全国初の事例となります。復元にあたっては、発掘調査の成果をもとに、現存する建物や遺構を参考にして設計を行いました。そして、同時代建築に前例のない寺院金堂の復元という点においては、まさに日本古代寺院建築史の空隙を補う建造物として大いに期待される事例となっています。

この慧日寺復元に伴い、周辺の町道の改良も「まちづくり交付金事業」として一体的に実施しています。



3 あぶくま高原道路建設事業 福島県西白河郡矢吹町～田村郡小野町

あぶくま高原道路は、西白河郡矢吹町から阿武隈地域のほぼ中央にある田村郡小野町に至る、延長約 36 km の自動車専用道路です。

この道路は、「東北自動車道矢吹 IC」と「福島空港」及び「磐越自動車道小野 IC」とを結ぶ交通ネットワークを形づくることにより、県内の中通り地方と浜通り地方とを結ぶ交通網の強化による地域間の連携交流の促進、開発ポテンシャルの高い阿武隈地域の発展の支援、県南地方・浜通り地方はもとより栃木県をはじめとする北関東地方からの福島空港のアクセス向上、災害時の代替路線確保や救急医療体制の支援による住民福祉の増進への寄与など、限りない可能性を秘めた道路です。



第543回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊料金：宿泊希望者には福島市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。

宿泊予約金：宿泊予約金（1人1泊4,000円）は申込と同時に下記旅行会社に直接送金下さい。

送金先：㈱日本旅行 東京東支店

銀行口座 みずほコーポレート銀行 十五号支店 普通預金口座№3101299

お振込の際は、お振込人の名義の前に開催回数「543」を付け加えて下さい。

問い合わせ先：㈱日本旅行 東京東支店 TEL 03-3662-1725 FAX 03-3669-5637

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 1-10-12（共同ビル新堀留 1 階）

「全建担当デスク」迄

申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

取り消し・返金について

平成20年10月10日(金)までの取り消し	宿泊予約金の全額を返金
平成20年10月14日(火)～20日(月)までの取り消し	宿泊予約金の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金は一切ありません

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成20年10月21日(火),22日(水),23日(木)

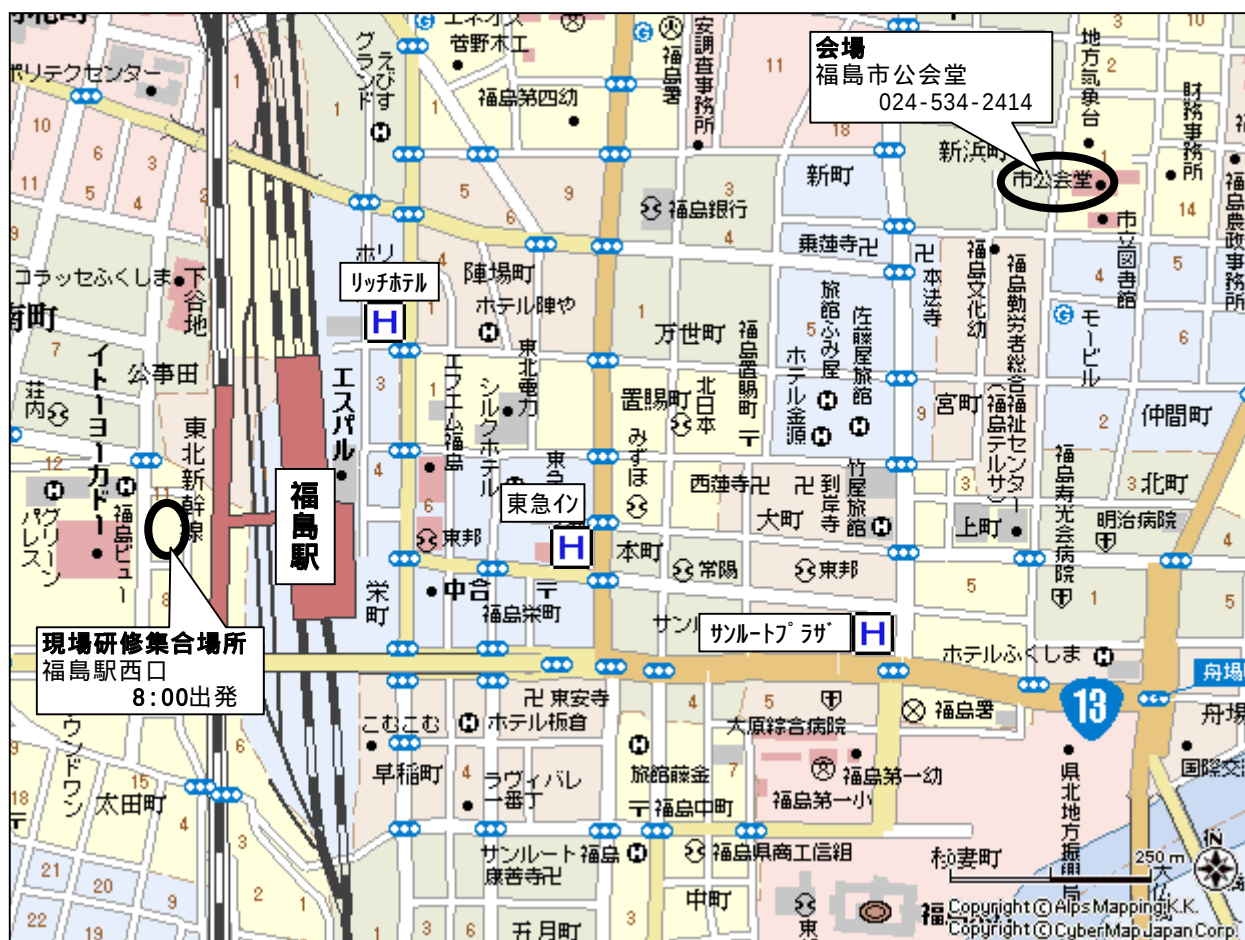
(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

記号	宿舎名	電話番号・所在地	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
A	福島東急イン	福島市栄町 11-25 TEL: 024-523-0109	シングル	4 0 名	9,000 円
B	福島リッチホテル	福島市栄町 2-36 TEL: 024-521-1711		4 0 名	8,500 円
	ホテルサンルートプラザ福島	福島市大町 7-11 TEL: 024-525-2211		4 0 名	8,300 円
宿泊斡旋人数合計				1 2 0 名	

宿舎が決定次第、㈱日本旅行より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は、「宿泊案内」をご覧ください。

案内図



社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 _____ 印
(特別・賛助会員名)

第543回建設技術講習会（アセットマネジメントと公物管理の課題）申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

[illegible]

↓ 全建に振込

↓ (株)日本旅行に振込

「お申込み後の変更・取り消し・追加方法について」

お電話での受付はいたしません。 本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき

「再送」と明記の上、FAXにてお送り下さい。なお、この場合、原本の郵送は不要です。全建FAX 03-3586-6640

「聴講時の昼食について」

昼食の幹旋はありません。

「現場研修時の昼食について」

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできません。予めご了承下さい。